7 私たちにできること

生物多様性は、私たちの暮らしに密接にかかわっています。

生物多様性を守るには、まずは暮らしの中で生き物とのつながりを感じることが大切です。水や空気はもちろん、食べ物や着る物の材料、木材、薬の原料などいろいろな生き物のおかげで私たちは生きています。

生物多様性が保たれ、自然のめぐみを将来にわたって受け続けられるよう、次の中からできることを選んで行動しましょう。

知る

① 県立博物館、かごしま環境未来館、平川動物園、かごしま水族館、グリーンファームなど自然や生き物に関する施設に出かけます。

県立博物館

かごしま環境未来館

② 近くの里山や海・川など自然に出かけ、自然のめぐみを感じたり、生き物を観察します。

火の河原

かごしま自然百選に選ばれている「火の河原」や「メダカの学校岳の池」では市民活動団体において、自然観察会が開かれています。どのような生き物がいるか観察してみましょう。

調べる

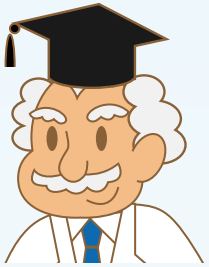
③ 市民活動団体等の活動に参加し、自然や生き物を調べて記録に残します。

松元ダム外来魚駆除体験

松元ダムには、ブルーギルなどの外来種がすんでいます。毎年、地元の土地改良区において、この外来種を釣り上げて駆除する体験学習が開かれています。

なぜ、外来種を駆除しないといけないのか考えてみましょう。

鹿児島の自然を守り育てるために、市民活動団体や地域の会社の人たちが、さまざまな活動を行っています。市民活動団体などは、かごしま環境未来館ホームページで確認できます。



④ 自然のなかで観察した生き物を報告します。

見つけた生き物を「かごしま生きものラボ」や「いきものログ」の WEB ページで報告しよう。

見つけて欲しい生き物

○水辺の生き物

カワセミ、ボタンウキクサ（外来種）、アメリカザリガニ（外来種）、スクミリンゴガイ（外来種）、ウシガエル（外来種）、トノサマガエル

○森の生き物

フクロウ、カブトムシ

○草地などの生き物

キリギリス、ナガサキアゲハ

○まちの生き物

ヤモリ、セイタカアワダチソウ（外来種）など

●市民生きもの調査

鹿児島市の市民生きもの調査は、環境省の『いきものログ』を利用しています。『いきものログ』は見つけた生き物を登録し、みんなで共有できるインターネットのシステムです。

みんなで生き物マップをつくってみましょう。

※調査前には、利用者の登録が必要です（無料）。

調査結果の報告のしかた（次のどちらでも報告できます。）

○スマートフォンの「生きものログ用アプリ」をダウンロードし、見つけた場所でアプリから直接報告します。

○記録用紙と調査地点記入地図に調べた結果を記録して持ち帰り、インターネットにつながったパソコンから、「かごしま生きものラボ」の WEB ページで結果を報告します。

○ 参考になるWEBページ

団体名（サイト名）	内　容	URL
鹿児島市 （自然に関するのページ）	鹿児島市の自然保護について	http://www.city.kagoshima.lg.jp/machizukuri/kankyohozen/shizen/index.html
かごしま生きものラボ	鹿児島市の自然や生き物について	http://kagoshima-ikimonolabo.jp/
かごしま環境未来館	かごしま環境未来館の講座やイベントなど	http://www.kagoshima-miraikan.jp/
鹿児島県	鹿児島県の自然保護について	https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/shizen/index.html
鹿児島県立博物館	鹿児島県の自然に関する情報	http://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/index.html
環境省	日本の環境について	http://www.env.go.jp/
環境省（こどものページ）	環境省のこども向けページ	http://www.env.go.jp/kids/index.html
生物多様性センター	生物多様性について 「いきものログ」のホームページあり	http://www.biodic.go.jp/

○ 参考になる本やガイドブック

冊子名	内　容
鹿児島市生物多様性地域戦略	鹿児島市の生物多様性の取り組みについて
かごしま自然百選ガイドブック	かごしま自然百選について
鹿児島市のチョウ・トンボの今昔	鹿児島市のチョウ・トンボについて
川の生きものたち	鹿児島市の水辺の生き物について
鹿児島市の川魚図鑑	鹿児島市の川でみられる魚について
鹿児島市の自然（平成 19 年度版）	鹿児島市の自然について
鹿児島市史跡めぐりガイドブック	鹿児島市の文化財について

※本やガイドブックは、「かごしま生きものラボ」のWEBページにあります。（鹿児島市史跡めぐりガイドブックはリンク先に移動します。）

みんなに教える

⑤ 自然の素晴らしさや季節の変化を感じて、写真や絵、文章などで伝えます。

家族や友達に、絵や写真を見せることで、自然の素晴らしさに気づいてもらうきっかけをつくることができます。

環境子どもサミット

かごしま環境未来館では、フォトコンテストをやっています。応募してみよう。

行動する

⑥ 食品ロスを減らします。

食品ロスとは、食べられるのに捨てられた食べ物のことです。食べ物は自然のめぐみです。食べ残しを減らしましょう。

⑦ 生き物を育てます。

動物を飼ったり、植物を育てたりして、生き物を大切にしましょう。

桜島どんぐりころころ植樹祭

⑧ 自宅から出るごみや汚水を減らし、買い物するときにエコラベルの付いた商品を選ぶなど環境に優しい暮らしをします。

FSCラベルは、適切に管理されていると認められた森林から伐り出した木材で生産された製品に付けられます。

建材、コピー用紙、ティッシュなど

MSC「海のエコラベル」は、水産資源や海洋環境を守って獲られた水産物に付けられます。

缶づめ、冷凍食品など

⑨ 自然とかかわりがある行事やかごしま環境未来館や市民活動団体などが行う生物多様性などの学習・体験活動・保全活動に自ら進んで参加します。

環境未来館地域まるごと共育講座
（メダカの学校岳の池）

かごしま環境未来館では、環境保全活動などに取り組んでいる市民活動団体などといっしょに「地域まるごと共育講座」を開いています。生き物観察会や自然体験などの講座があります。

●城山公園自然の森再生事業

城山は、照葉樹林が原生林に近い姿で残されていることなどから、国の文化財に指定されています。

近年、外来種の植物が増え、城山の貴重な自然が失われつつありました。城山の自然を守るために、どのようなことを行っているのか市役所の方に話を聞いてみました。

西村さんの話

城山の植物の成長に特に大きな影響を与えるモウソウチク、トウチク、ハヤトウリの３種を「侵略的外来種」として取り除いています。城山の貴重な自然を将来に残していきたいです。

⑩ 地元でとれたものや、旬のものを食べます。

近くの畑などは、生き物にとって大切なすみかになっています。
旬の食べ物は、おいしくて栄養も豊富です。

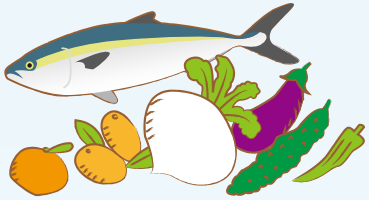
地元でとれる主な農水産物

○農業

伊敷・吉野・吉田地域の軟弱野菜
(ミズナ・ホウレンソウ・コマツナ・チンゲンサイなど)
桜島地域の桜島ミカン、ビワ、桜島大根
吉田・郡山地域のニガウリ
喜入地域のスイートコーン、オクラ
松元地域の茶、ナス

○漁業（海面養殖業）

桜島地域のカンパチ・ブリ
喜入地域のクロマグロ、青のり



旬の食材の一例（出荷時期）

シュンギク……	10月～3月	オクラ……	5月～10月
レタス……	12月～3月	桜島大根……	1月中旬～2月中旬
ニガウリ……	4月下旬～12月中旬	茶……	4月中旬～8月
スイートコーン……	5月中旬～6月中旬	カンパチ……	12月中旬～3月

⑪ ペットは最後まで責任を持って育て、野外に逃がさないようにします。

外国産クワガタ

ペットが野外に放たれると、もともといた生き物のすむ場所がなくなったりします。その結果、もともといた生き物が減ることが、心配されています。
また、外国のクワガタムシのなかには、日本産のクワガタムシと交雑（種類が混ざること）して、雑種を作ってしまうものもあります。

ペットを飼うまえに考えてみましょう。

① どのくらいの大きさになるか。
② どう猛ではないか。
③ どのくらい生きるのか。
④ どのようなエサを食べるか。
⑤ 人や他の動物に影響のある病気はないか。

鹿児島市の生物多様性を守る私の提案

生物多様性からみた2050年のまちの望ましい姿を思い描いてみましょう。

では、そんなまちにするために、わたしたちにできることはなんだろう。
私の行動計画をつくってみよう。

わたしの行動計画
(知る)
(調べる)
(みんなに教える)
(行動する)

みんなで、できることからはじめましょう。